



人権に関するAppleの取り組み

「プライバシーを守ること、誰もがアクセスできるテクノロジーをつくることも、今まで以上にリサイクル材料を使用した製品をつくることも、すべては世のため、そして私たちが住む地球のためにしていることです。」

—ティム・クック

人を大切にする会社

Appleでは、人権の尊重は一人ひとりの尊厳を重んじ、他者に対し敬意をもって接することから始まりますが、これにとどまりません。

私たちは、世界中の人々に対するエンパワメントを可能にし、人々をつなぐテクノロジーの力を信じており、また、ビジネスが善の力となり得ることを確信しています。これを達成するには、革新と努力、そして他者をサポートする姿勢を維持することが大切です。

また、これは、Appleの価値観をもってリードして行くということでもあります。Appleの人権に関するポリシーには、顧客、チーム、Appleのビジネスパートナー、コミュニティ、そしてサプライチェーンのあらゆる役割の人々との適切な関わり方に関する規定が定められています。

国際的な人権基準に準拠するためのAppleの取り組み

Appleは、「世界人権宣言」、「市民的及び政治的権利に関する国際規約」、および「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」（以下、総称して「国際人権章典」といいます）、さらに「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」の規定に従い、事業活動において国際的に認められた人権を尊重しています。Appleのアプローチは、国連によるビジネスと人権に関する指導原則に基づくものです。

Appleは、事業を行うあらゆる場所において、適用法を遵守し、国際的に認められた人権尊重の取り組みをもって事業を展開することを目指しています。また、国連による指導原則に則る際に要件に相違が見られた場合は、適用法を遵守するとともに、国際的に認められた人権の原則を尊重する方法を模索しています。

さらに、リスク評価や、サプライチェーンの労働者、市民権団体、人権・労働の専門家、投資家、政府、国連機関などのステークホルダーとのチャンネルを通じて、人権に関する重大なリスクを特定するための堅固なデューデリジェンスを実施しています。Appleはこうしたリスクの軽減に努め、悪影響があった場合にはその是正に努め、進捗状況を追跡および分析し、調査結果を報告します。

人権を尊重する文化

私たちは、Appleがつくるテクノロジー、そのつくり方、そして人々との関わり方において、人権を尊重する姿勢を全社的に浸透させており、進捗状況の継続的な評価を行い、その過程において得られた教訓をすべての業務に反映させています。

Appleがつくるテクノロジー

グローバルなテクノロジー企業として、Appleは、人々の人権を尊重し、利便性の高いツールや情報を用いてエンパワメントに貢献し、人々の生活の質を全体的に向上させるテクノロジーをつくるという責任感をもって日々の業務を行っています。

そのため、妥協することなくセキュリティ対策やユーザープライバシー対策に取り組み、個人情報の収集を最小限に抑えるための業界標準を設けています。また、iPhoneなどの製品からApple Payなどのサービス、App Storeのすべてのアプリに対する包括的な審査プロセスに至るまで、Appleがつくるものにはすべてプライバシー保護を適用しています。

情報と表現の自由に関するAppleの取り組みは、ユーザープライバシーと密接に関連するものであり、Appleの製品は、顧客のコミュニケーション、学習、表現、創意工夫を支援するものです。Appleは、情報が自由に行き交う開かれた社会の重要性を信じており、開かれた社会の在り方を促進し続けるには、たとえAppleが特定の国の法律に賛同しかねる場合であっても、関わりを維持し続けることが最善策であると確信しています。

Appleは、自社のプラットフォームで提供するコンテンツに対し、責任を持って行動し、Apple Newsなどのサービスを通じて、ユーザーが、最も信頼される情報源からタイムリーな情報を簡単に見つけられるようにしています。App StoreやApple PodcastをはじめとするAppleのすべてのサービスにおいて、ユーザーは幅広い選択肢の中から利用するコンテンツを選ぶことができます。Appleでは、すべてのApple製アプリおよびサービスのコンテンツをAppleのガイドライン・基準に照らして慎重に審査しています。

Appleは、ユーザーの人権を尊重した形でコンテンツやサービスを含む質の高い製品を提供できるよう努めていますが、その過程において現地の法律を遵守する必要があります。複雑な問題に至っては、進むべき方向に関し、政府やその他のステークホルダーの意見に同意しかねるケースがある場合もあります。その場合、Appleは対話を重ね、エンゲージメントの持つ力を信じつつ、ユーザーのプライバシー、自己表現力、信頼できる情報や役立つテクノロジーへのアクセスなどをサポートできる、ユーザーにとって最も良い解決策を見出します。

人々のエンパワメントに貢献し、人々をつなぐテクノロジーをつくるため、Appleは世界で最もアクセスしやすい製品とサービスをつくることをモットーとしてきました。これは、万人向けにつくられたテクノロジーは万人のニーズを満たすべきであるとする信条に基づくものです。

つくり方にこだわる

人権の尊重は、Appleの製品・サービスのつくり方を形作るものです。Appleの責任は、店舗やオフィスのみにとどまらず、サプライチェーンに関わる人々、地域社会、そして私たちが住む地球にまで及びます。

そのため、Appleはあらゆるサプライチェーンにおいてサプライヤーと協力し、すべての職場においてすべての人の安全性が保障され、一人ひとりが尊重される環境づくりを行っています。これは、労働および人権に関する必須の研修、定期監査や抜き打ち監査を含む第三者による監査の実施、匿名報告システムの設置、および報告内容の調査を通して実施されるものです。Appleが求める高水準の基準を満たす意思が企業にみられない場合、または企業が基準を満たすことが出来ない場合、このような企業はサプライチェーンリストから削除される場合があります。

私たちは、Appleのサプライチェーンに携わる人々、そしてその人々が住む地域に良い影響をもたらしたいと考えています。私たちは、地域の人々やサプライヤーと協力し、新たなスキルを身につけ、事業を立ち上げ、変革をもたらす企業であることを誇りに思っています。グローバルな教育イニシアティブ活動に加え、Appleは人権や環境保護に携わる人々や国際的な非営利の人権団体とも提携してきました。

Appleは、主に製品の設計、製造、およびリサイクルを通じて人々に良い影響をもたらし、地球環境の保護に取り組んでいます。

Appleでは、100パーセント再生可能なエネルギーが用いられており、2030年までにサプライチェーン全体でカーボンニュートラルを達成すべく、サプライヤーと協力し合っています。Appleは、リサイクル素材と再生可能素材のみを使用するクローズド・ループ・サプライ・チェーンを利用するという目標に向け、日々前進しています。また、この目標に向かって尽力するとともに、引き続き一次原材料の責任ある調達を行うことを約束しています。さらに、Appleは、その技術と革新力を生かし、水資源の保全、貴重な資源のリサイクル・回収、および将来に向けたロードマップの公開を行うことにより、Appleと共に環境保護活動に携わるよう、同業他社に協力を促しています。

他者を尊重する会社

Appleの真髄はAppleの人々にあります。これゆえ、Appleは、社員、サプライヤー、外部契約者、そして顧客を含む、Appleに関わるあらゆる人々の人権を尊重することを約束しています。

AppleおよびAppleのサプライチェーン全体において、Appleはいかなる形態の不本意な労働、ハラスメント、差別、暴力、報復、いかなる形態の偏見、および偏見による行為も容認しません。Appleは、人権を尊重し、倫理的かつ誠実に適用法や規制を遵守してビジネスを行うとするAppleの目標を反映した「AppleのBusiness Conductポリシー」に関する研修を毎年受講することを社員に義務付けています。

また、Appleは、世界中のチームの一人ひとりが歓迎され、受け入れられる環境づくりにも力を入れており、すべての人が尊厳と敬意をもって扱われ、一人ひとりが「居場所があると感じられる」ような文化を形成しています。

透明性とコミュニケーション

Appleは、顧客、および同業者を含むすべての人々に、Appleの価値観、そしてAppleが世界の人々と地球環境の改善のために行っている取り組みについて知っていただきたいと考えています。

Appleは、様々な分野においてAppleの成果を追跡・分析し、その過程において得られた教訓を活かした継続的な改善を行うとともに、進捗状況を公表し、プライバシー、環境パフォーマンス、サプライチェーンのデューデリジェンスに至るまで、様々なトピックの最新情報をapple.com上で公開しています。Appleの進捗状況が可能な限り有意義かつ影響力のあるものとなるよう、Appleは労働者の権利擁護団体や現地の指導者を含む様々なグループと協力し合い、権利保持者や国連機関、政府、非政府組織、市民権団体、世界有数の人権専門家を含むその他のステークホルダーとの協議を実施しています。

Appleの取締役会は、Appleを代表して本ポリシーの採択を行い、本ポリシーの確認および定期的な見直しを行う責任を負います。Appleのシニアバイスプレジデント兼法務責任者は、Appleのポリシーの実施を監督し、取締役会およびその委員会に対し、Appleの進捗および重要な問題に関する報告を行います。

Appleは常に他社の模範となるよう努力を重ね、業界全体のさらなる変化をもたらすべく、進捗状況の開示を行っています。Appleの取り組みにおいて、終わりなるものは存在しません。改善可能な点を見いだせないということはつまり、よく探せていないからに他ならないからです。